

2015年3月期決算 (2014年4月～2015年3月)

2015年5月12日

KDDI株式会社

代表取締役社長 田中 孝司



本日も説明する内容

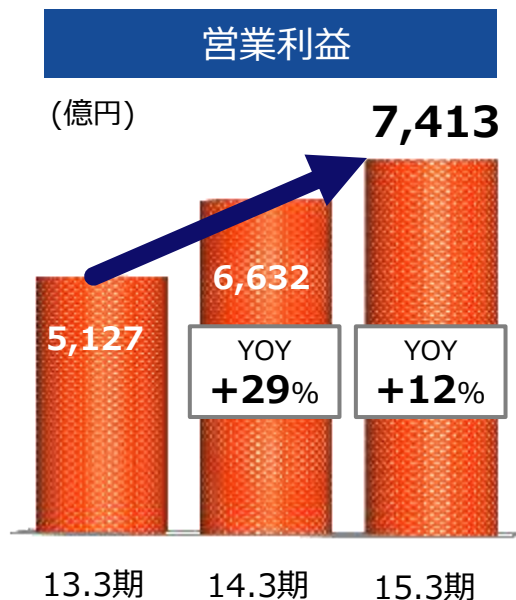
- 1. 2015年3月期 業績**
 - 2. 新たな成長ステージに向けて**
 - 3. 2016年3月期 業績予想**
- **Appendix**

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 2015年3月期 業績

15.3期 ハイライト

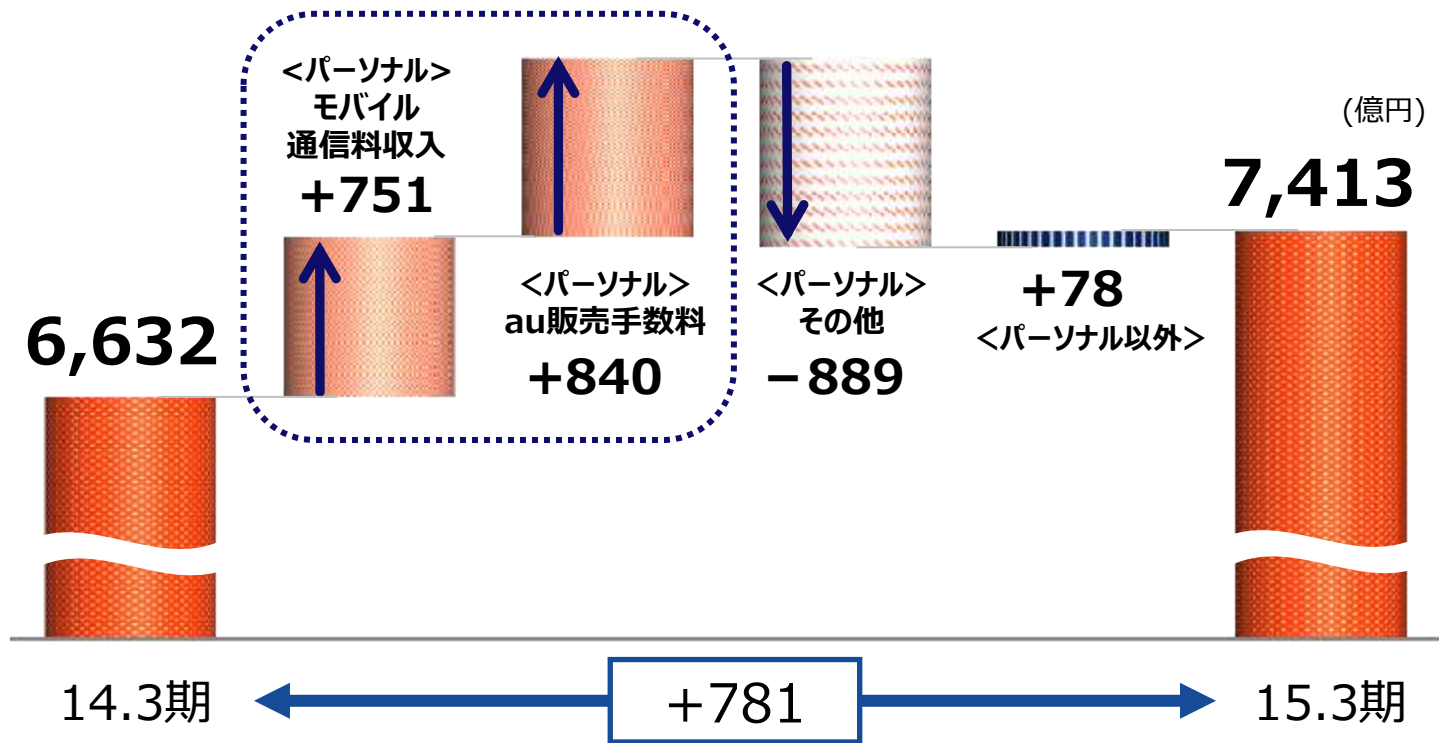
**営業利益「2期連続2桁成長」を達成。
新たな成長ステージに向けた取組みを推進**



- 営業利益 YOY +12%
- auモメンタムの持続
- 国内外における新規事業展開

15.3期 営業利益 増減要因

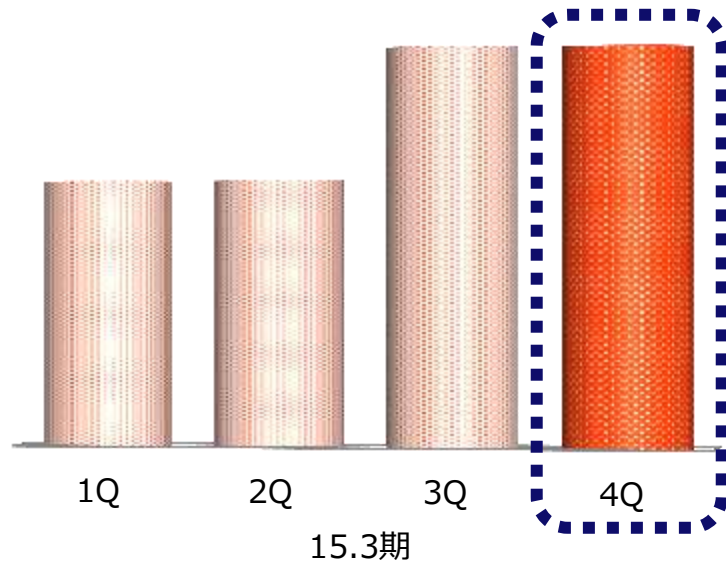
モバイル通信料収入の増加とau販売手数料の削減が貢献



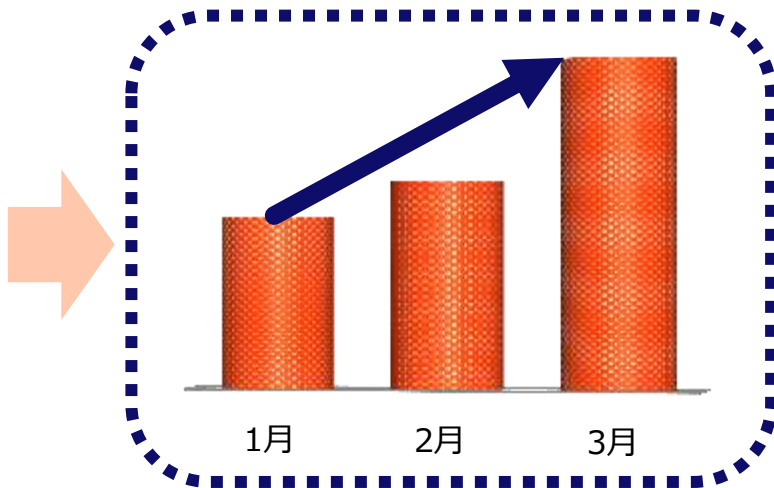
オペレーションデータ

4Qも引き続き好調。3月には年間最高水準に

四半期推移

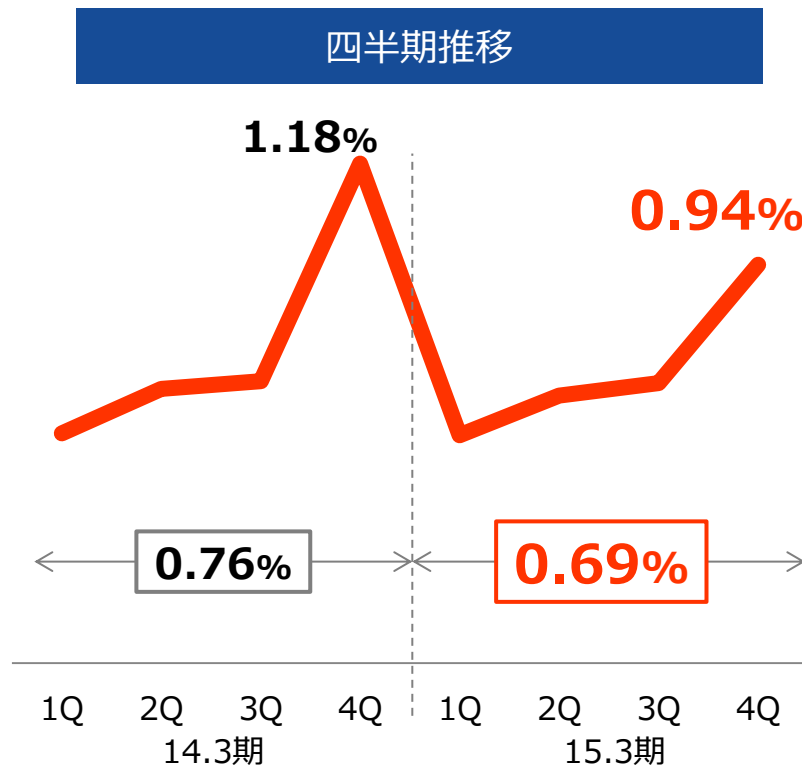


月次推移

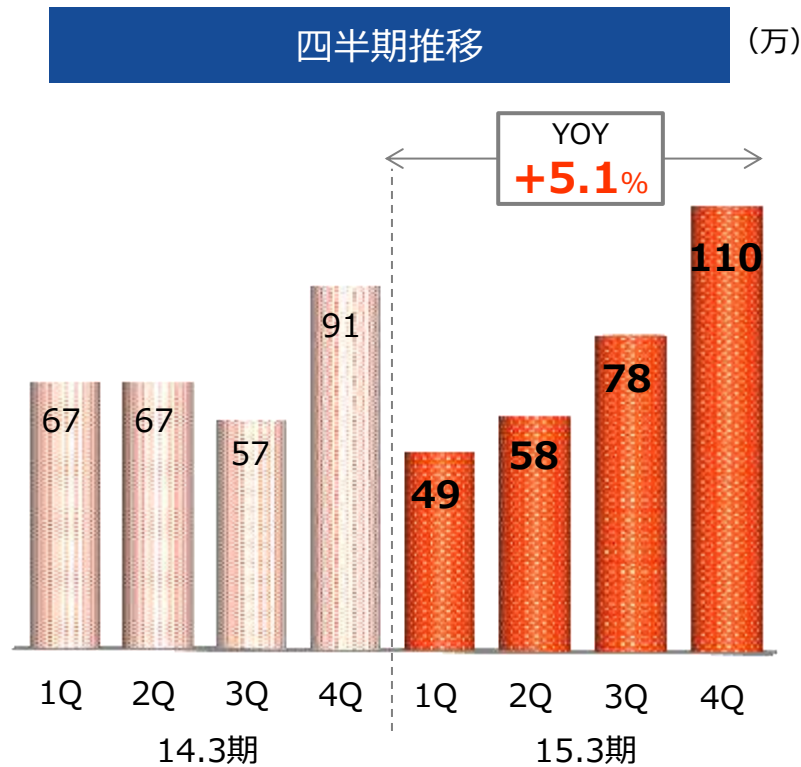


au解約率

YOYで改善



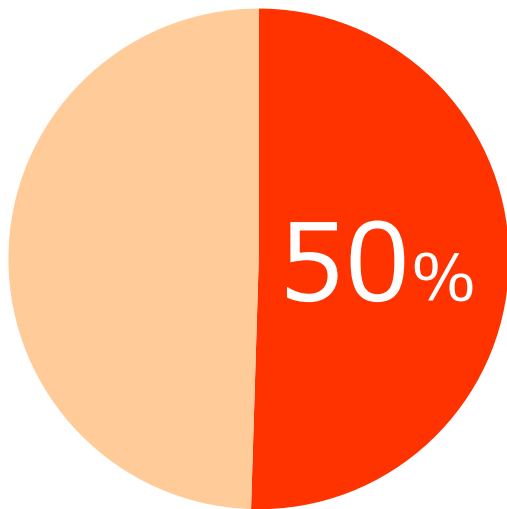
au純増数
YOY +5.1%



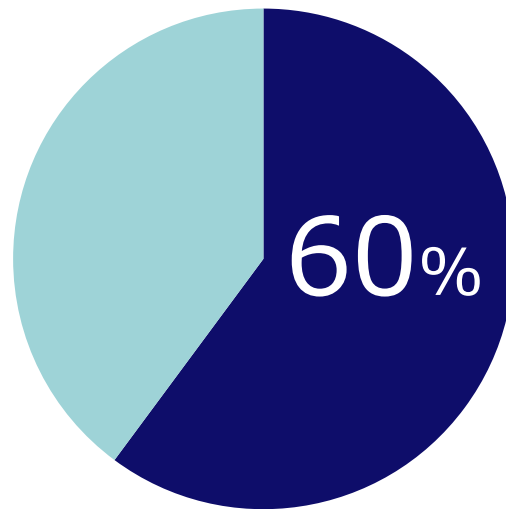
auスマートバリュー

自社サービス契約者の半数以上に浸透

auスマートフォン契約者への浸透率注1



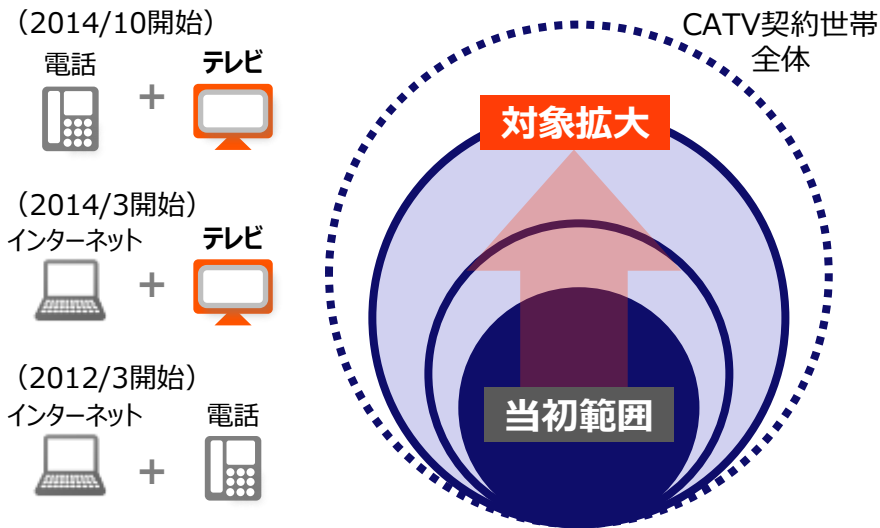
auひかり（FTTH）契約者への浸透率注2



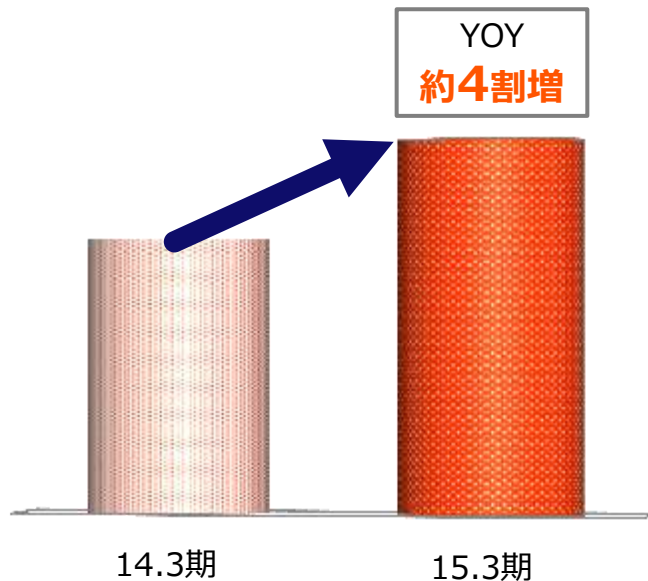
auスマートバリュー

適用条件の拡大により、CATVによるau販売が拡大

固定（CATV）の対象サービス^注と世帯



J:COMによるau勸奨販売実績

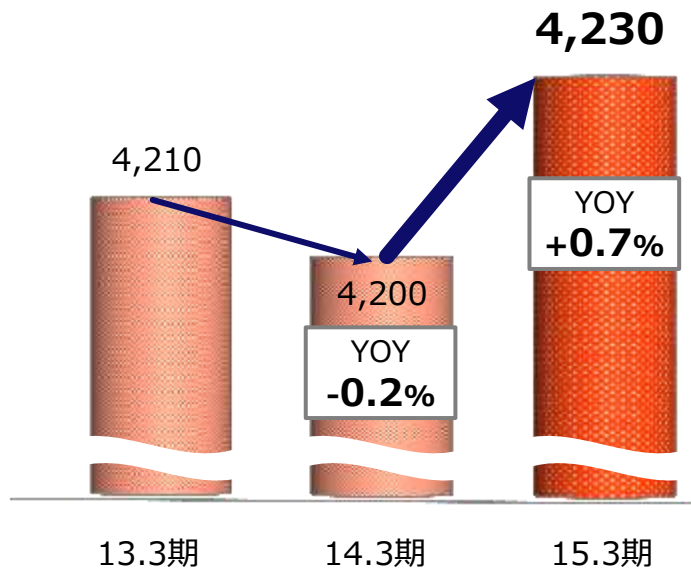


注) 「インターネット」+「テレビ」および「電話」+「テレビ」がauスマートバリュー割引の対象とならない提携先CATV会社があります。また、提携先CATV会社により一部のインターネットコース、テレビコースがauスマートバリュー割引の対象外となる場合があります

スマートフォンの浸透により、au通信ARPUは反転

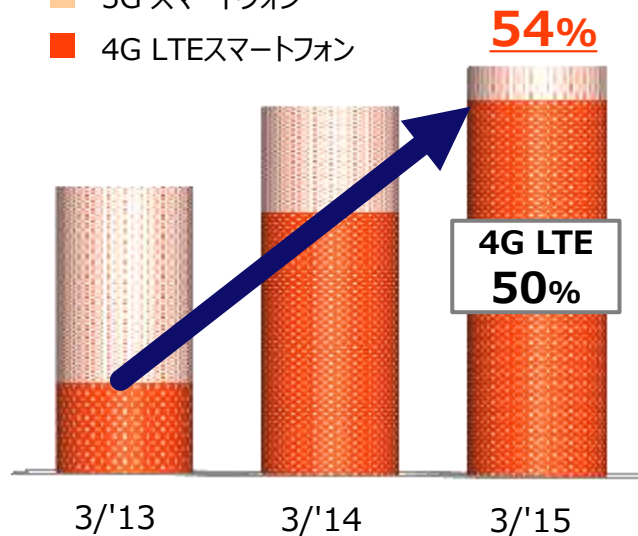
au通信ARPU注

(円)



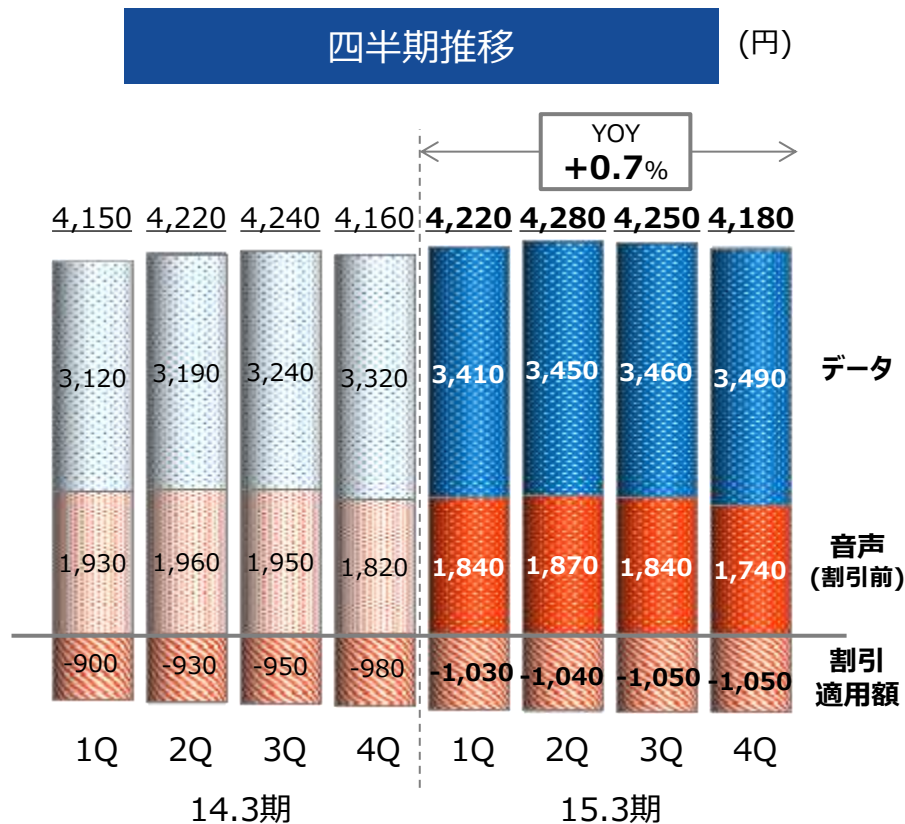
auスマートフォン浸透率

- 3G スマートフォン
- 4G LTEスマートフォン



注) 割引適用額を含む

(参考)
au通信ARPU
内訳



ダブル対応で高速通信のネットワーク^注



初の225Mbps対応機種
Galaxy S6 edge

au 4G LTE

受信最大速度
150Mbps

受信最大速度
225Mbps

WiMAX 2+

受信最大速度
220Mbps



注) 対応機種において、一部のエリアから提供。最新エリアの詳細はホームページでご確認ください

*記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。エリア内でもお客様のご利用環境、回線の状況により、低下する場合があります (ベストエフォート型サービス)

*送信はキャリアアグリゲーションの対象外です

*「Galaxy」はSamsung Electronics Co., Ltdの商標または登録商標です

2.新たな成長ステージに向けて

3M戦略の推進

本格的なマルチデバイス・マルチユース推進フェーズへ

マルチデバイス

スマートフォン ルーター タブレット



and more

一人当たり
モバイルデバイス数増加へ

マルチユース

au WALLET
auスマートパス

and more

付加価値事業
成長ステージへ

3M
戦略

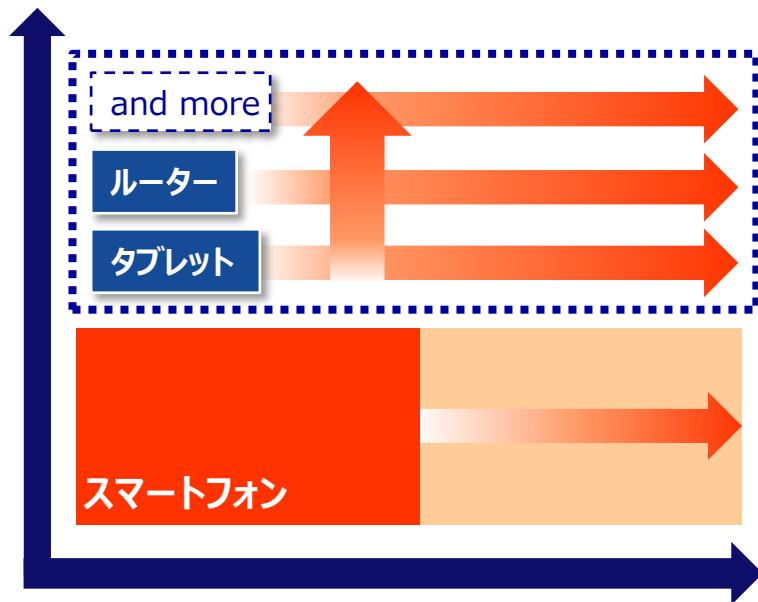
マルチネットワーク

2012/3 サービス提供開始
auスマートバリュー

顧客基盤を確立

マルチデバイス推進によるau通信ARPA拡大を目指す (Average Revenue per Account)

au通信ARPA



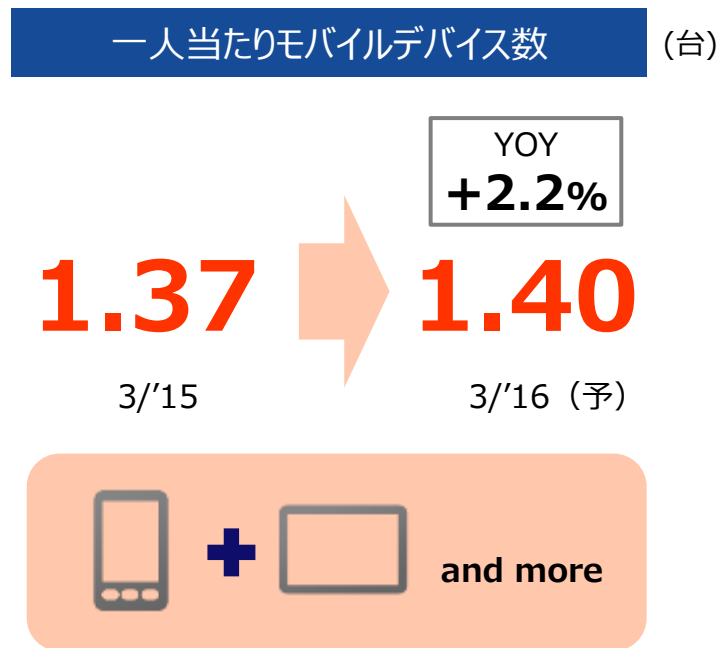
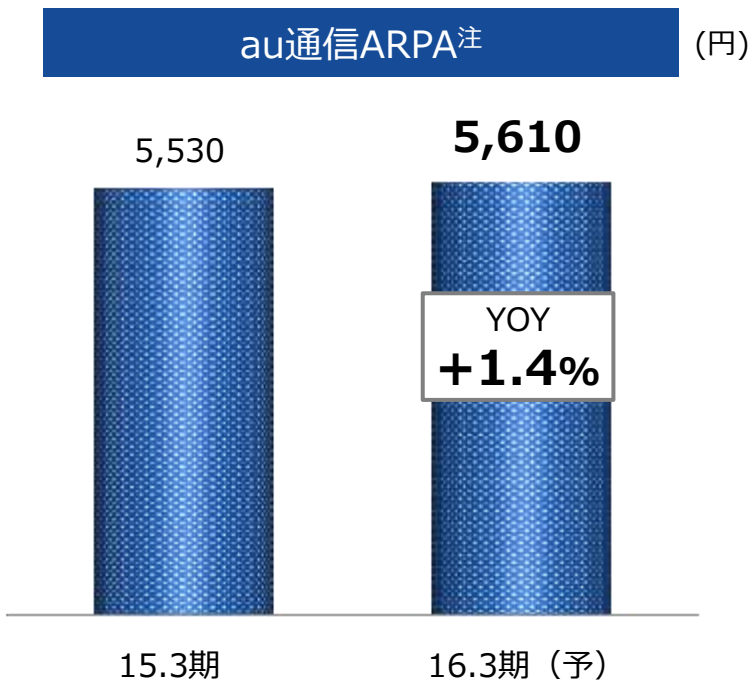
マルチデバイス化



さらなるスマホシフト
(従来のau通信ARPU)

au契約者数(Account)

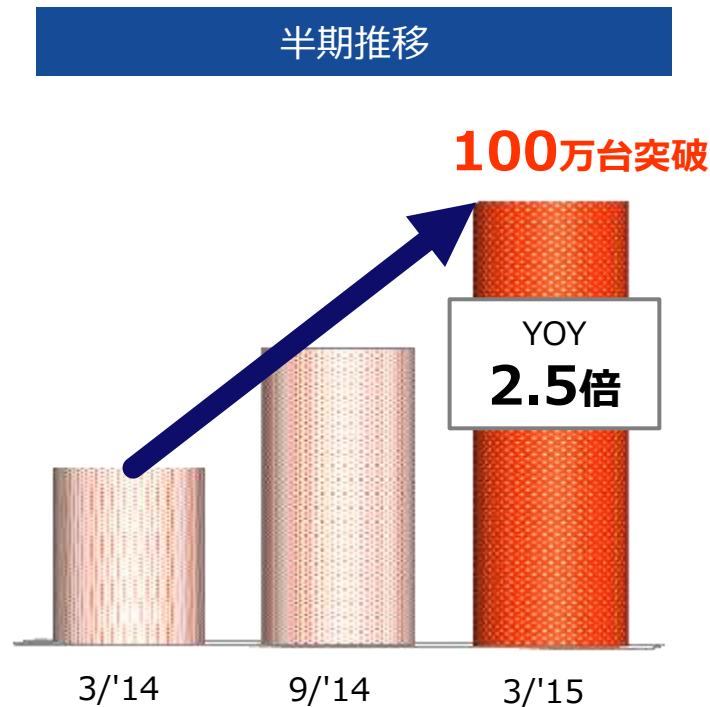
一人当たりモバイルデバイス数がさらなる成長ドライバーに



注) パーソナルセグメントベース。MVNOおよびプリペイドを除くモバイル通信料収入÷au契約者数

タブレット累計契約数

マルチデバイス化による
拡大フェーズへ



付加価値ARPA収入の拡大

マルチユース推進による付加価値ARPA拡大を目指す

(Average Revenue per Account)



付加価値経済圏の拡大

金融・コマースを強化し、付加価値経済圏拡大を目指す

付加価値経済圏



決済プラットフォーム

auかんたん決済

au WALLET

au顧客基盤

付加価値経済圏

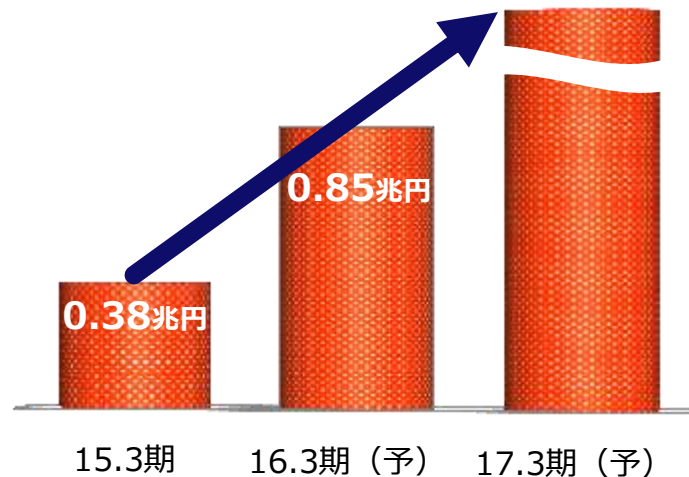
auかんたん決済

au WALLET

流通総額^注

16.3期 0.85兆円 (予)

流通総額^注



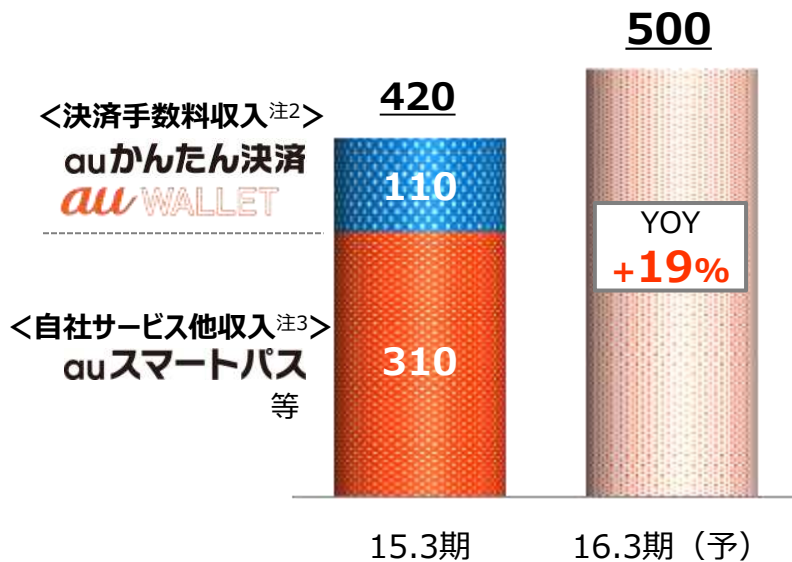
注) auかんたん決済およびau WALLETの決済における自社サービス含む流通総額

付加価値ARPA^{注1}

YOY +19% (予)

通期推移

(円)



注1) 付加価値ARPA = 付加価値ARPA対象収入 (決済手数料収入 + 自社サービス他収入) ÷ au契約者数

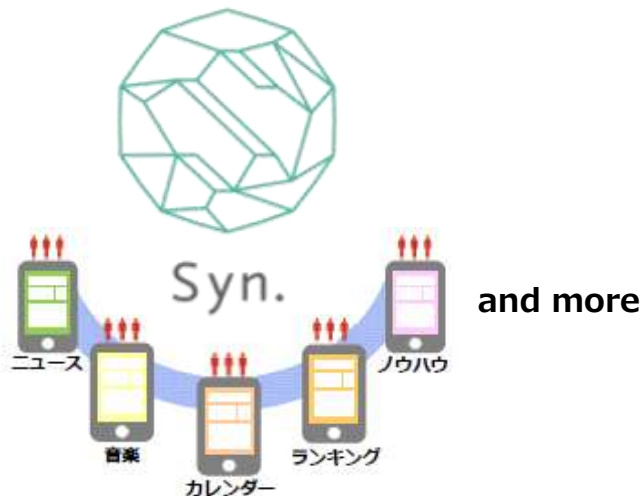
注2) 決済手数料収入 = auかんたん決済およびau WALLET決済手数料収入

注3) 自社サービス他収入 = auスマートパス・物販をはじめとする自社サービス販売収入および広告収入等

顧客接点拡大に向けて、Syn.構想による新たな価値を提供

異なる各種サービスを連携・融合する
Syn.menuを提供

「食べログ」など5サービスが参加^{注1}
(累計20サービス)



kakaku.com



食べログ

含め4サービス

Hatena

Hatena::Diary

月間利用者総数 **1億超**^{注2}

*「Syn. (シンドット)」構想とは、有カインターネットサービス企業の連合体「Syn.alliance (シンドットアライアンス)」を通じて、異なる全てのサービスが入り口となる「中心のないポータル」を構築し、お客様の新しいモバイルインターネットの体験を創出することを目指す構想

注1) 2015/2

注2) Syn.allianceメンバーの20サービスに訪れる月間のユニークユーザー数の総数 (スマートフォンのみ。各メンバーのサービスを重複して利用するユーザーも合算) (2015/3末時点)

ミャンマー通信事業

共同事業開始から7ヶ月、800万枚超のSIMを販売

販売網の強化

- ・ ブランドブースをヤンゴン空港内に開設
- ・ 直営店、専売店などの販売網を拡大



2015/3に開設したヤンゴン空港内のMPTブランドブース

ネットワーク品質の改善

- ・ 主要都市において、3Gデータ通信の高速化を順次実施中



MPTの新料金プラン/ネットワーク高速化を訴求

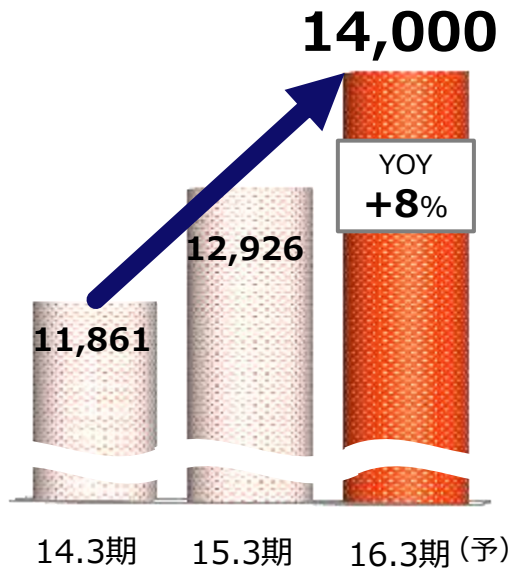
3. 2016年3月期 業績予想

16.3期 業績予想

営業利益「3期連続2桁成長」を目指す

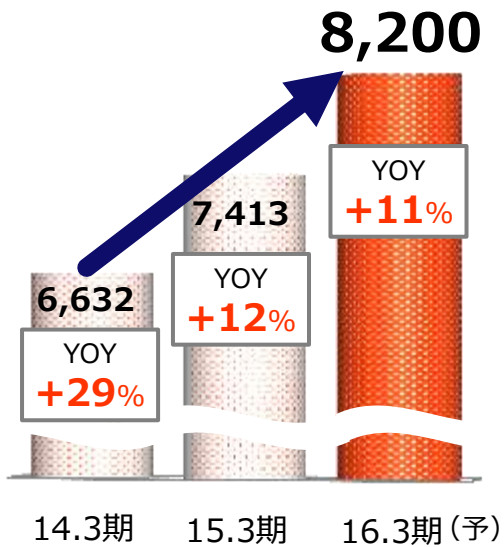
EBITDA

(億円)



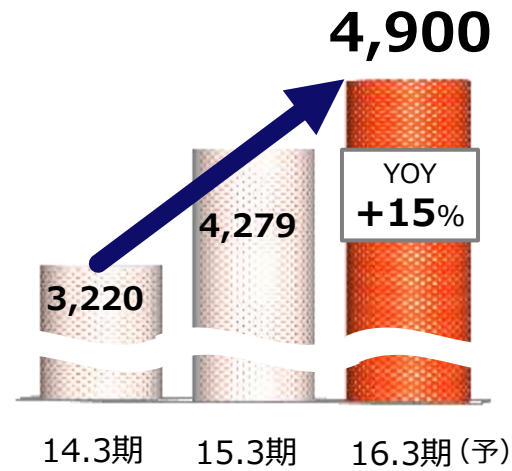
営業利益

(億円)



当期純利益

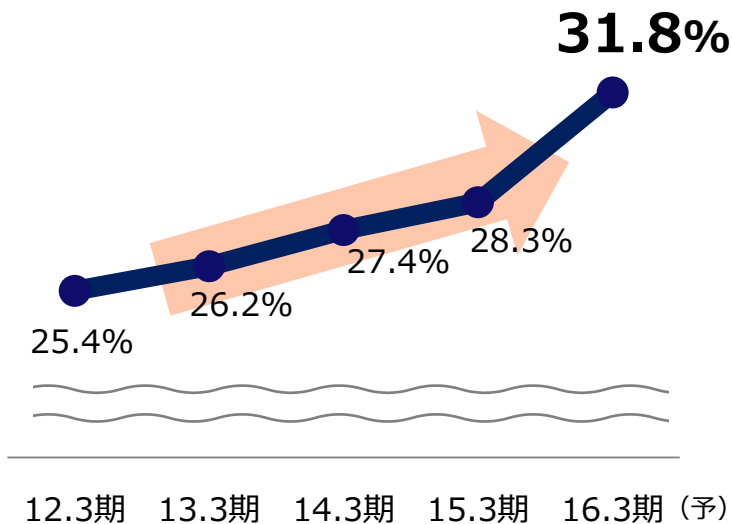
(億円)



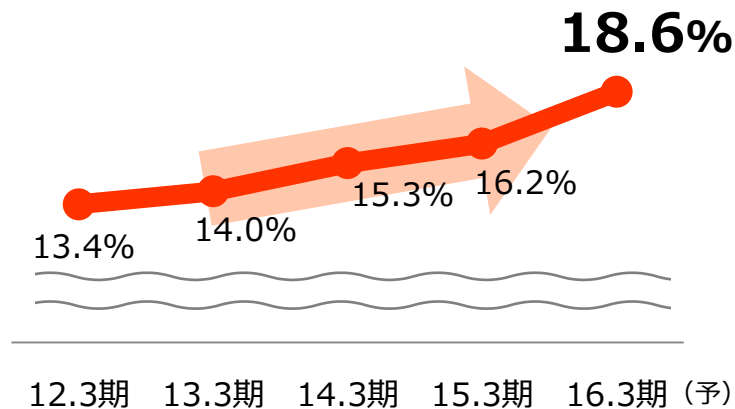
*14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

EBITDAマージン、営業利益率ともに上昇

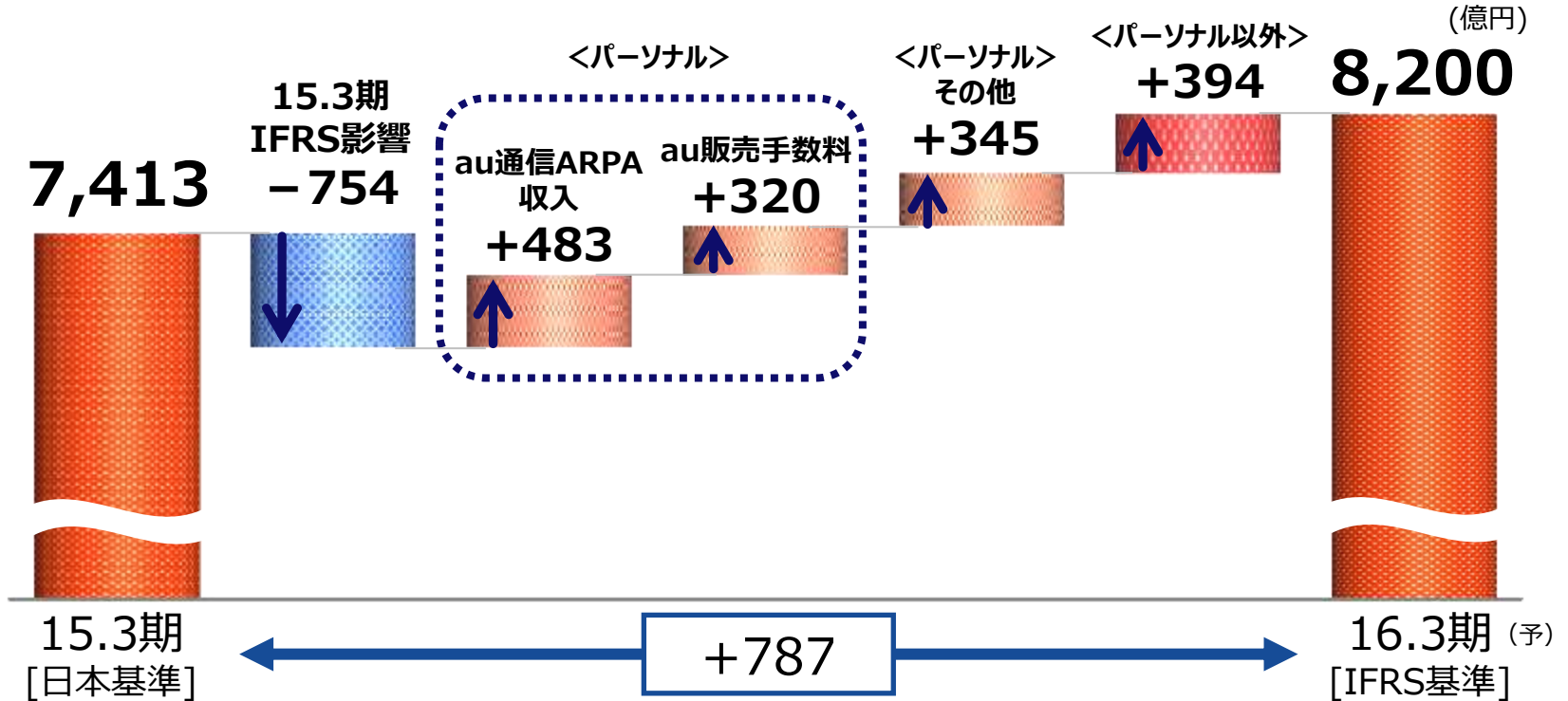
EBITDAマージン



営業利益率

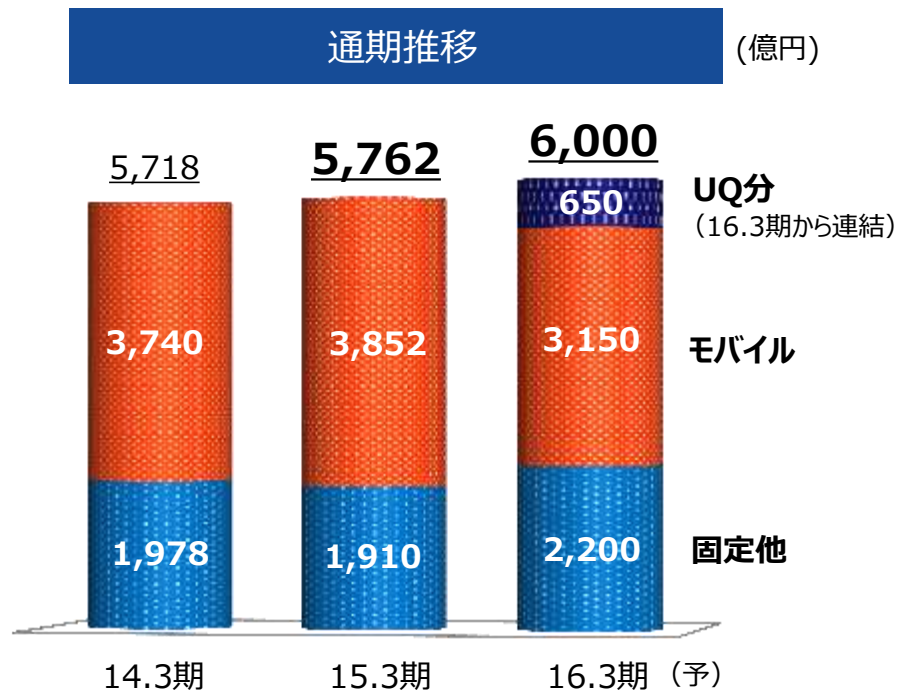


15.3期に続き、国内モバイル事業が増益に貢献



設備投資

16.3期 (予)
6,000億円

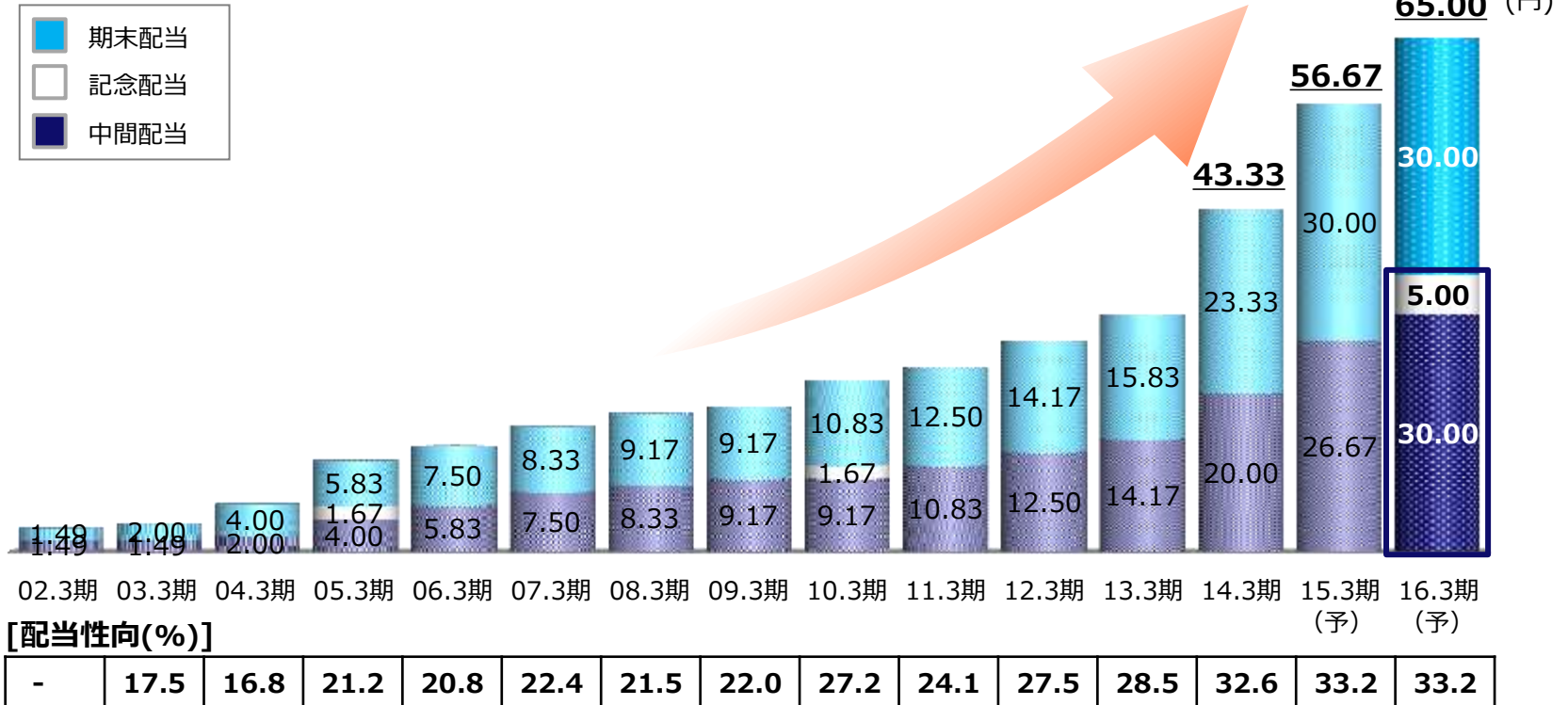


*14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

1株当たり配当と配当性向

EPS成長により13期連続の増配

*2015/4/1を効力発生日として普通株式1株を3株に分割する株式分割後の値に調整



3 力年中期目標達成に向けて着実に進捗

	14.3期	15.3期	16.3期 (予)
連結 営業利益 ^{注1}	6,632億円 YOY +29%	7,413億円 YOY +12%	8,200億円 YOY +11%
1株当たり配当 ^{注2} 配当性向	43.33円 32.6%	56.67円 (予) 33.2%	65.00円 33.2%

注1) 14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

注2) 2015/4/1を効力発生日として普通株式1株を3株に分割する株式分割後の値に調整

■ Appendix

(億円)

	14.3期	15.3期	YOY	16.3期 (予)
営業収益	43,336	45,731	+ 5.5%	44,000
営業利益	6,632	7,413	+ 11.8%	8,200
営業利益率	15.3%	16.2%	--	18.6%
経常利益	6,629	7,524	+ 13.5%	--
当期純利益	3,220	4,279	+ 32.9%	4,900 ^注
EBITDA	11,861	12,926	+ 9.0%	14,000
EBITDAマージン	27.4%	28.3%	--	31.8%
FCF	2,260	2,877	+ 27.3%	2,800

*14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

注) 親会社の所有者に帰属する当期利益

セグメント別業績一覧①

(億円)

セグメント		14.3期	15.3期	YOY	16.3期 (予)
パーソナル	営業収益	33,679	35,133	+ 4.3%	34,000
	営業利益	5,072	5,774	+ 13.8%	6,500
	営業利益率	15.1%	16.4%	--	19.1%
	EBITDA	9,557	10,483	+ 9.7%	11,500
	EBITDAマージン	28.4%	29.8%	--	33.8%
バリュー	営業収益	2,125	2,423	+ 14.0%	2,800
	営業利益	516	580	+ 12.4%	790
	営業利益率	24.3%	23.9%	--	28.2%
	EBITDA	645	700	+ 8.6%	900
	EBITDAマージン	30.3%	28.9%	--	32.1%

*14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

セグメント別業績一覧②

(億円)

セグメント		14.3期	15.3期	YOY	16.3期 (予)
ビジネス	営業収益	6,749	6,692	- 0.8%	6,300
	営業利益	865	804	- 7.0%	540
	営業利益率	12.8%	12.0%	--	8.6%
	EBITDA	1,307	1,271	- 2.8%	1,030
	EBITDAマージン	19.4%	19.0%	--	16.3%
グローバル ^注	営業収益	2,636	3,206	+ 21.6%	3,250
	営業利益	114	168	+ 47.3%	310
	営業利益率	4.3%	5.2%	--	9.5%
	EBITDA	273	370	+ 35.6%	440
	EBITDAマージン	10.4%	11.5%	--	13.5%

*14.3期、15.3期は日本基準。16.3期 (予) はIFRS基準

注) 連結子会社のうち一部を除き、15.3月期における会計期間は2014/1/1から2015/3/31までの15ヶ月間となっております

主要KPI一覧

36

セグメント			3/'14	3/'15	増減	3/'16 (予)
連結	au契約数	(万)	4,052	4,348	+296	4,578
パーソナル	au契約数	(万)	3,413	3,648	+235	3,818
	一人当たりモバイルデバイス数	(台)	--	1.37	--	1.40
	auスマートフォン浸透率	(%)	49.1%	54.3%	+5.2pt	--
	auスマートバリュー (モバイル)	(万)	705	933	+228	--
	auスマートバリュー (固定)	(万)	358	459	+101	--
バリュー	auスマートパス	(万)	1,025	1,289	+264	--
セグメント			14.3期	15.3期	YOY	16.3期 (予)
パーソナル	au通信ARPU	(円)	4,200	4,230	+0.7%	--
パーソナル&バリュー	総合ARPA	(円)	--	5,950	--	6,110
パーソナル	au通信ARPA	(円)	--	5,530	--	5,610
バリュー	付加価値ARPA	(円)	--	420	--	500

Designing The Future

KDDI